

情報連絡員報告・5月分

前月とくらべ、全産業計で7項目のDIが悪化

～売上高がマイナスに、収益状況、業界の景況も悪化～

<東京都中央会>

5月の情報連絡員報告によると、全産業計で前月とくらべ、調査項目の9項目中、7項目のDI（前年同月比）が悪化した。なかでも前月はプラスになった売上高がマイナスに転じ、収益状況、雇用人員、業界の景況も若干悪化した。

特記事項からは天候不順による客足の減少や野菜高騰の報告がよせられた。

要望事項からは6月からの駐車違反取り締まり強化に対する特例措置を求める意見が多くよせられた。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

特記事項欄より

「繊維・同製品」

- ・クールビズの影響は昨年よりも大きいと考えた方がよいか。中国での絹相場の高騰もマイナス要因になりえる。

「化学・ゴム」

- ・17年度の塗料販売実績は前年を上回ったが、中小企業の実績では横ばいか、むしろ減少の懸念がある。原料の値上げ攻勢は連休明けから厳しくなり、各社とも防衛に必死である。

「その他製造」

- ・稼働率が伸び悩みを起こしている。各ゼネコンの現場が足踏みしている状態

である。それにとまって単価が徐々に下落している。このままでは下落傾向に転じる可能性がある。

「卸売業」

- ・ゴールデンウィーク商戦は期待ほどでなく、改めて玩具業界が厳しい環境に置かれていると痛感した。

「小売業」

- ・日照不足で農作物が高騰していても、豆腐の消費が伸びない。豆乳ブームも終わった。拡販に力をいれているが、業界では格差がみられるようになった。
- ・5月は、雨の影響で日照不足となり、

キャベツ等が品不足で高値が続いた。
また、野菜の作柄も悪かった。

- ・景況に大きな変化なし。天候不順により客足が減ったとの報告が多くあった。最近、新規加入する業者の6割以上がネット販売専門という現状。
- ・ワールドカップ商戦を控えて、薄型テレビの新製品をメーカーが相次いで投入している。価格の低下はあるが、販売は好調に推移した。

「運輸業」

- ・燃料の高騰が収益悪化に大きく影響している。運賃アップの交渉もここに来て後退しているように感じる。

< 要望事項欄より >

- *ネクタイはファッションアイテムです。

クールビズ＝ノーネクタイというイメージは払拭すべきだ。[繊維・同製品]

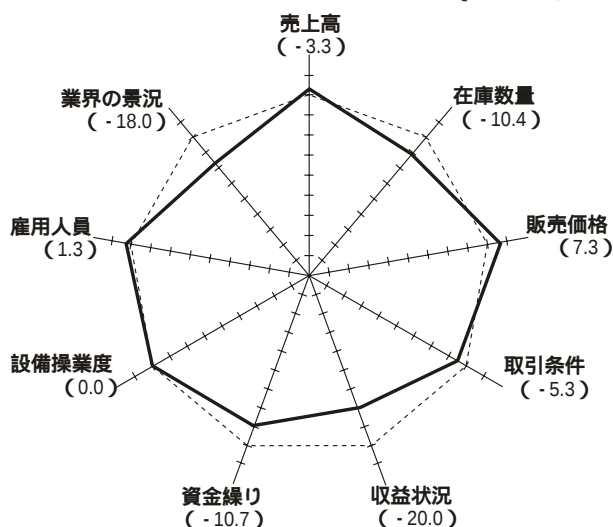
- *小規模事業所で専用駐車場を有している所は少なく、路上で荷物の積み降ろしを行うことも多い。道交法の改正が仕事に大きく影響する。道路使用許可等の特例措置を。[鉄鋼・金属]

- *駐車違反の取り締まり強化は、理美容室への訪問販売を業とする組合員にとって致命的なダメージとなる。特別駐車証交付等の特例措置を行政機関へ要望する組合員の意見がある。[卸売業]

- *駐車違反の罰則が強化されるが、オートバイは駐車場の絶対数が足りない状況にあり、行政側の早い対応を望む。

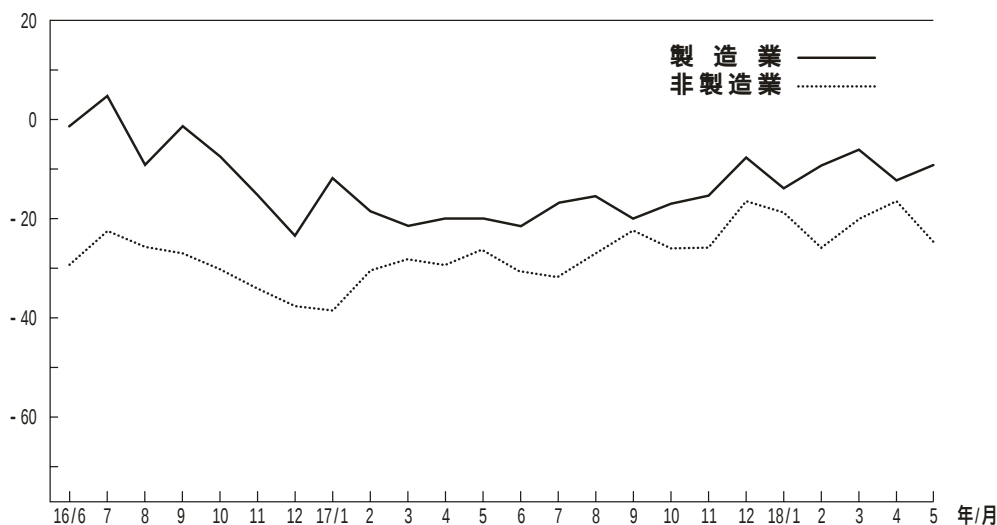
[小売業]

5月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）

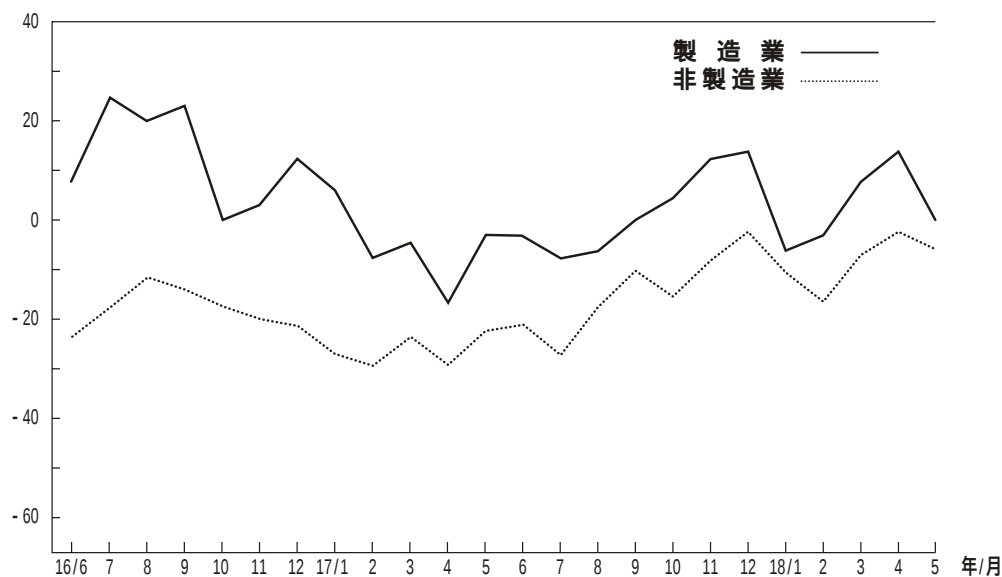


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H16.6～H18.5）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H16.6～H18.5）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。